



Open Incubation toward 2020

株式会社デジタルガレージ

2018年3月期 第2四半期 決算説明会

2017.11.10

 **Digital Garage**

目次

ミッション&ビジネスモデル	3
インベストメント・ハイライト	7
業績レビュー	12
事業セグメント別レビュー	16
Appendix	31

ミッション & ビジネスモデル





**Real & Cyber
Local & International
Marketing & Technology
Present & Future**

を結ぶ

Context Company

として

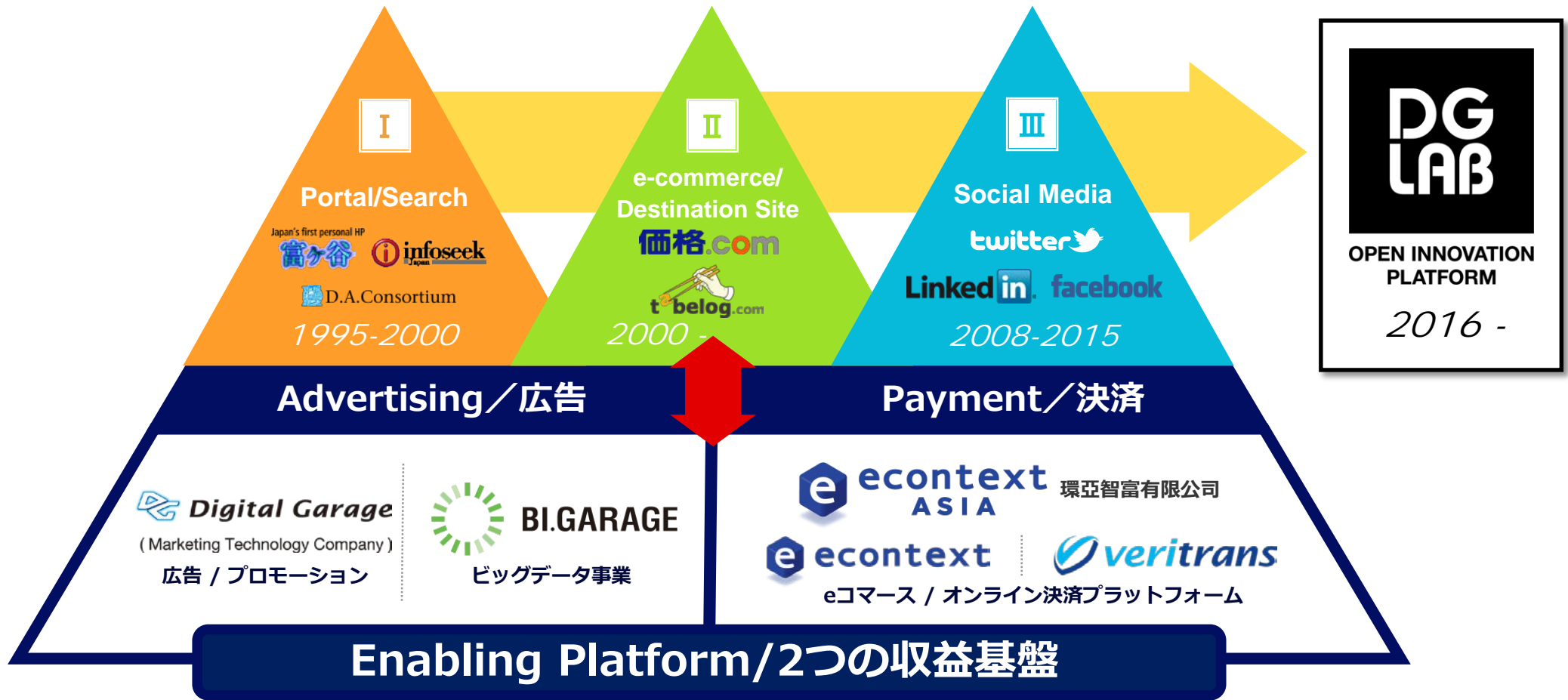
インターネット時代における
新しい生活・社会・産業への
ビジネスソリューション提供

インターネットビジネスを IT/MT/FT の
3つのコア機能を駆使し、プロデュース/インキュベート



-  Information Technology
-  Marketing Technology
-  Financial Technology

独自のEnabling Platformを活用し、黎明期よりDGは
日本を代表するインキュベーション事業を創造



インベストメント・ハイライト



2018.3期2Q累計は、売上高287億円、営業利益14億円、税引前利益34億円

～ 高成長が続くMT/FTが業績を牽引。通期業績予想に対する進捗率は売上高49%、税引前利益44% ～

I 連結業績：前年同期比*21%増収、営業利益同56%増、税引前利益同26%減

- 2Q累計売上高は過去最高を更新。MT/FTは売上高・税引前利益ともに過去最高のセグメント業績を実現
- 前期の変則決算による持分法投資利益、為替差益及び特別利益の減少で税引前利益は同26%減の34億円

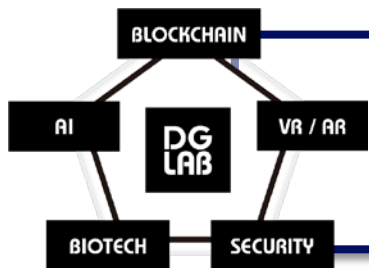
II MT/FT：ネット広告/決済の好調続き、大幅増収増益

- MTは売上高前年同期比29%増の172億円、税引前利益同40%増の10億円と大幅増収増益。主力のパフォーマンスアドが好調、スマートフォンアプリ分野やソーシャル広告が急成長
- FTは売上高前年同期比9%増の101億円、税引前利益同24%増の11億円。取扱高が7,000億円を突破、EC市場を上回る成長を継続。重点分野の非EC領域は、対面決済や仮想通貨取引所決済、個人間決済の取扱高が急拡大

III IT/LTI：積極的な成長投資を継続。優良投資先の中長期インキュベーション体制を構築

- ITはAI関連のスタートアップ育成を手掛けるAll Turtles等に出資。米国・日本・欧州・アジアを繋ぐインキュベーションストリームを強化、「Open Network Lab」のグローバル展開の基盤構築
- LTIは前期変則決算により税引前利益減益。ライフスタイル支援事業を展開するDG Life Design社の株式を追加取得し、連結子会社化、中長期インキュベーションを本格始動
- DG Labは、独自仮想通貨を発行できる決済フレームワーク「DG Lab DVEP」™を開発。電子地域通貨向けに提供し、実証実験が完了

注) * 2017.3期は決算期変更による9ヶ月変則決算に伴い、便宜上、2017.3期2Q累計と2018.3期2Q累計の比較を前年同期比としています。

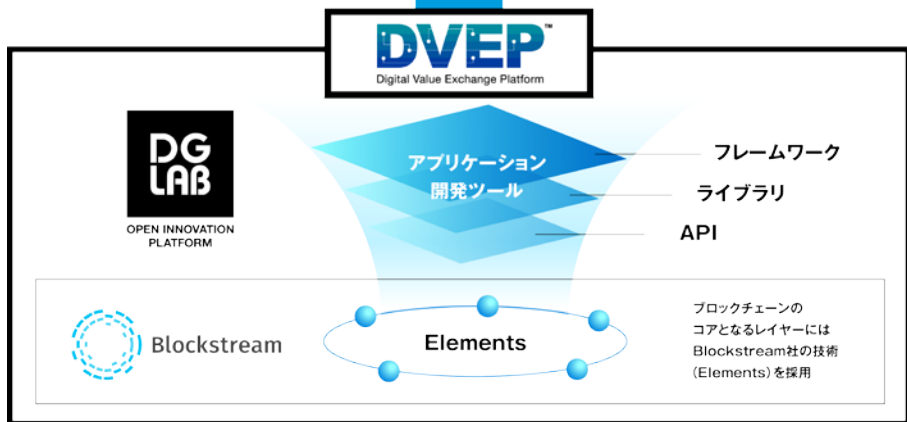
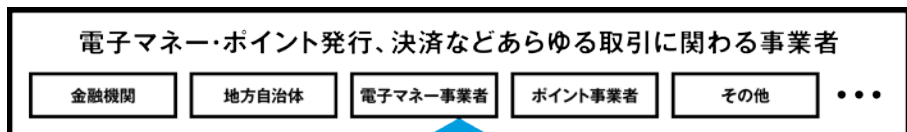


5つの重要分野に焦点を当てた研究開発とファンドによる投資を両輪とし、次世代事業の柱となる技術開発が本格化。実証実験・業務提携など事業化に向けた動きが加速

BLOCK CHAIN

ブロックチェーンを活用した汎用フレームワークを開発

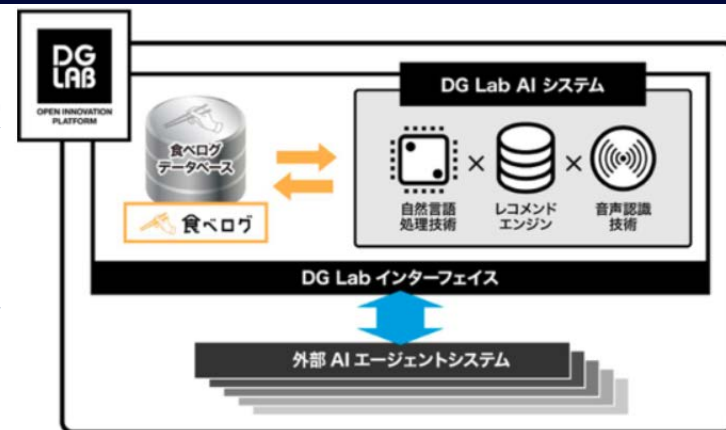
Blockstream社と技術連携し、ブロックチェーン上で独自仮想通貨を発行できる決済システムに向けた汎用フレームワーク「**DG Lab DVEP (Digital Value Exchange Platform)**」™を開発。電子地域通貨での実証実験が完了



AI

データサイエンス事業と連携したサービスを開発

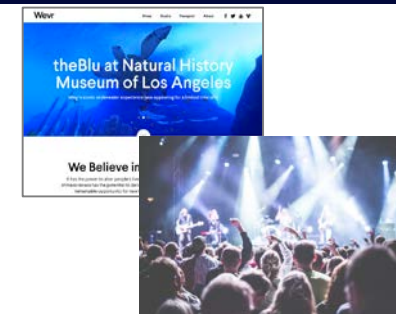
食べログが蓄積するレストラン情報を検索できるインタラクティブエージェントのプロトタイプを開発。オープンプラットフォームとして提供予定



VR/AR

ライブイベントに遠隔参加が可能なシステムを開発

パートナー企業と連携し、ライブイベントに遠隔参加が可能なシステムを開発するほか、VRコンテンツ内のデータ解析ソリューションを開発予定



スマートシティ準備室を設立、DG Labファンドと連携した地方創生をデザイン

東京（渋谷）、福岡、札幌などが決定し、その他エリアも検討中

地域創生スマートシティ
プロジェクト全国展開エリア



プロジェクト進行中エリア

「Sapporo AI Lab」 設立

<http://www.city.sapporo.jp/somu/koho/hodo/201705/documents/sapporoailab.pdf>

※北海道では北海道新聞グループを始めとした
コンソーシアム（地銀、流通、大学、行政）での展開

福岡

FDC Launch Program

<http://www.garage.co.jp/ja/pr/2017/09/20170921.html>

※特区に指定されている福岡市では福岡地域戦略推進協
議会と協定締結。市や地場の地方銀行、ディベロッパー、
鉄道等と協力して展開



DG Lab
アドバイザー

村井 純

慶應義塾大学
環境情報学部
教授

2020
CREATIVE CITY
SHIBUYA
INCUBATION CITY TOKYO

東京（渋谷）

➡ その他エリアも検討中



PARCO

**ブロックチェーン・AI・バイオテック等の分野で次世代技術を有するスタートアップに投資
～ DG Labはファンド出資企業/協賛企業/投資先企業と連携した技術開発を推進～**

コアパートナー



Digital Garage

kakaku.com

CREDIT SAISON CO.,LTD.

協賛企業、ファンド出資者

協賛予定企業例

: 銀行、証券、システム開発、通信 他

ファンド出資予定企業例

: IT、証券、銀行、新聞、建設、不動産 他

LP出資 ↓

↑ リターン

投資先
連携

協賛 ↓

↑ 事業連携/研究開発成果



DGLAB FUND

出資分野 : DG Lab 5 分野と連携
ブロックチェーン、AI、VR/AR、セキュリティ、バイオ



戦略5分野（ブロックチェーン、AI、VR/AR、セキュリティ、バイオ）における研究開発、実証実験

投資先一例

Blockstream [米・加]

BLOCKCHAIN

ビットコインの基盤技術であるブロックチェーンを様々な用途に応用する技術「サイドチェーン」を開発



Entrupy [米国]

AI

C2Cマーケットプレイス向けの詐欺商品判別認証画像認識技術を提供



TupacBio [米国]

BIOTECH

DNAをデザインするソフトウェアを開発。バーコード配列の自動設計、変異体の作製も可能



The Sync

Project [米国]

機械学習を組み合わせて、種々の症状に向けた音楽療法のための楽曲データベースを提供



ファンド設立以降、国内外の有望スタートアップ14社に投資を実行

業績レビュー



売上高は前年同期比21%増の287億円と過去最高、営業利益は同56%増の14億円、税引前利益は同26%減の34億円

～ 前期変則決算の影響による持分法投資利益、為替差益及び特別利益の減少で税引前利益は減益。税引前利益進捗率44% ～

単位：百万円	A	2018.3期		B	参考 C (=B/A)	2018.3期	
	2017.3期 2Q累計(実績) (7-12月)	1Q (実績) (4-6月)	2Q (実績) (7-9月)	2018.3期 2Q累計(実績) (4-9月)	前年同期比 (比率%)	(通期予想)	2Q累計 進捗率
売上高	23,817	13,103	15,616	28,719	+20.6	58,500	49%
営業利益	906	464	952	1,416	+56.4		
営業外収益	2,619	748	750	1,499	-42.8		
持分法投資利益	1,927	615	617	1,233	-36.0		
為替差益	274	-	9	9	-96.5		
営業外費用	210	101	135	237	+12.6		
為替差損	-	9	-	-	-		
経常利益	3,315	1,111	1,567	2,678	-19.2		
特別利益	1,400	719	133	852	-39.1		
投資有価証券売却益	1,368	717	-	717	-47.6		
税金等調整前当期純利益	4,702	1,830	1,664	3,494	-25.7	8,000	44%
法人税等	1,004	568	426	995	-0.9		
親会社株主に帰属する当期純利益	3,693	1,267	1,223	2,490	-32.6	5,500	45%

注) * 2017.3期は決算期変更による9ヶ月変則決算に伴い、便宜上、2017.3期2Q累計と2018.3期2Q累計の比較を前年同期比としています。

MT / FTは大幅増収増益、過去最高のセグメント業績を実現

～ IT / LTIは、前期の特別利益及び変則決算による持分法投資利益の減少で税引前利益減益 ～

単位：百万円	A	2018.3期		B	参考 C (=B/A)	
	2017.3期 2Q累計(実績) (7-12月)	1Q (実績) (4-6月)	2Q (実績) (7-9月)	2018.3期 2Q累計(実績) (4-9月)	前年同期比 (比率%)	2018.3期 (通期予想) 2Q累計 進捗率
売上高	23,817	13,103	15,616	28,719	+20.6	58,500 49%
MT マーケティングテクノロジー	13,394	7,800	9,499	17,299	+29.2	32,000 54%
FT フィナンシャルテクノロジー	9,329	4,951	5,208	10,159	+8.9	20,500 50%
IT インキュベーションテクノロジー	1,070	337	901	1,239	+15.8	6,000 21%
LTI ロングタームインキュベーション	23	14	6	20	-12.4	- -
税金等調整前当期純利益	4,702	1,830	1,664	3,494	-25.7	8,000 44%
MT マーケティングテクノロジー	784	466	632	1,098	+40.0	1,750 63%
FT フィナンシャルテクノロジー	931	578	579	1,157	+24.3	2,300 50%
IT インキュベーションテクノロジー	1,507	▲ 114	236	121	-91.9	3,800 3%
LTI ロングタームインキュベーション	1,928	554	693	1,247	-35.3	2,500 50%

注) * 2017.3期は決算期変更による9ヶ月変則決算に伴い、便宜上、2017.3期2Q累計と2018.3期2Q累計の比較を前年同期比としています。
セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前の数値となります。

(単位：百万円)	2017.3期末	2018.3 2Q末	前期末比（金額）	主たる変動要因/備考
流動資産	59,624	65,707	+6,082	
現預金	23,029	24,732	+1,702	投資有価証券売却による収入、新規借入等
未収入金	15,422	17,728	+2,306	FT事業の拡大
金銭の信託	2,264	3,342	+1,077	FT事業の拡大
営業投資有価証券	11,856	13,021	+1,164	新規投資、時価評価等
固定資産	32,061	32,289	+227	
投資有価証券	18,357	15,216	-3,141	投資有価証券売却、DG Life Design社の連結子会社化に伴うのれんへの振替、持分法投資利益取込
のれん	5,411	8,160	+2,749	DG Life Design社の連結子会社化
資産合計	91,686	97,997	+6,310	
流動負債	38,815	42,158	+3,343	
預り金	25,127	26,004	+876	
短期借入金	6,937	8,923	+1,986	FT事業の拡大による運転資金需要
固定負債	18,499	19,633	+1,133	
長期借入金	17,207	18,614	+1,406	長期金利の低下に伴う短期借入金の長期シフトを実現
負債合計	57,315	61,792	+4,476	
純資産	34,371	36,205	+1,833	
株主資本	31,633	33,418	+1,784	
資本金	7,437	7,440	+3	
資本剰余金	2,946	3,153	+207	
利益剰余金	21,300	22,850	+1,549	当期純利益の取り込み
その他の包括利益累計額	1,956	1,797	-159	
有価証券評価差額金	644	489	-154	
負債・純資産合計	91,686	97,997	+6,310	

事業セグメント別レビュー



I マーケティングテクノロジーセグメント

	売上高	税引前利益
2017年3月期 2Q累計実績 (7-12月)	13,394 百万円	784 百万円
2018年3月期 2Q累計実績 (4-9月)	17,299 百万円	1,098 百万円
2018年3月期 計画	32,000 百万円	1,750 百万円

▶ マーケティングテクノロジーカンパニー

パフォーマンスアド、O2O、Webマーケティングを提供



▶ ビジネスデザインカンパニー

コンサル型マーケティングを提供



▶ 株式会社 BI.Garage

データサイエンス事業、ソーシャルマーケティング、最先端アドテクを提供

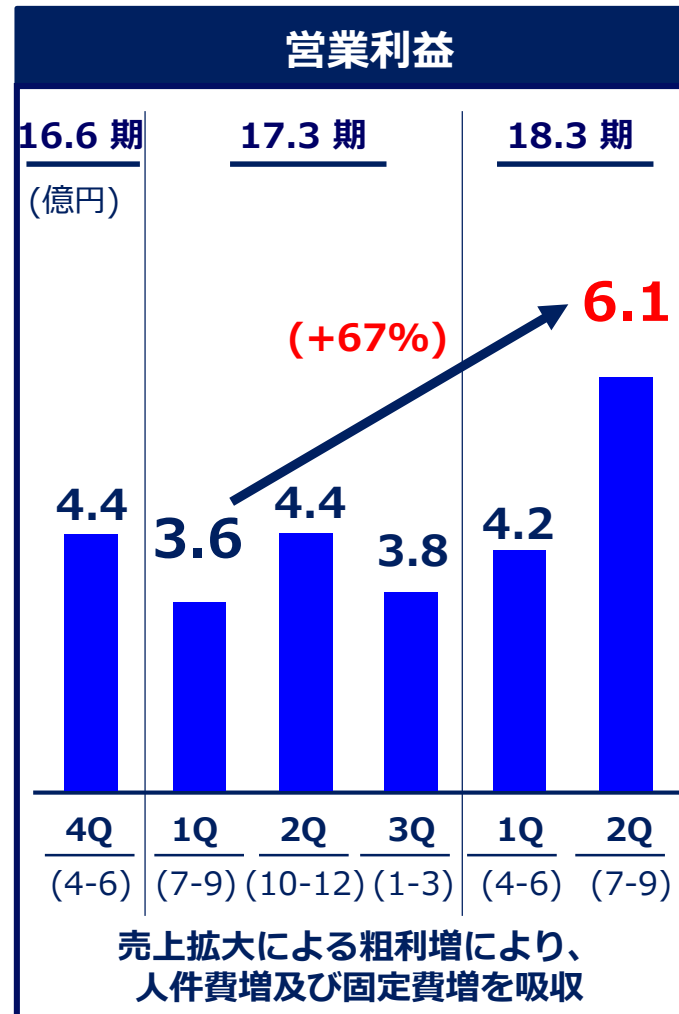
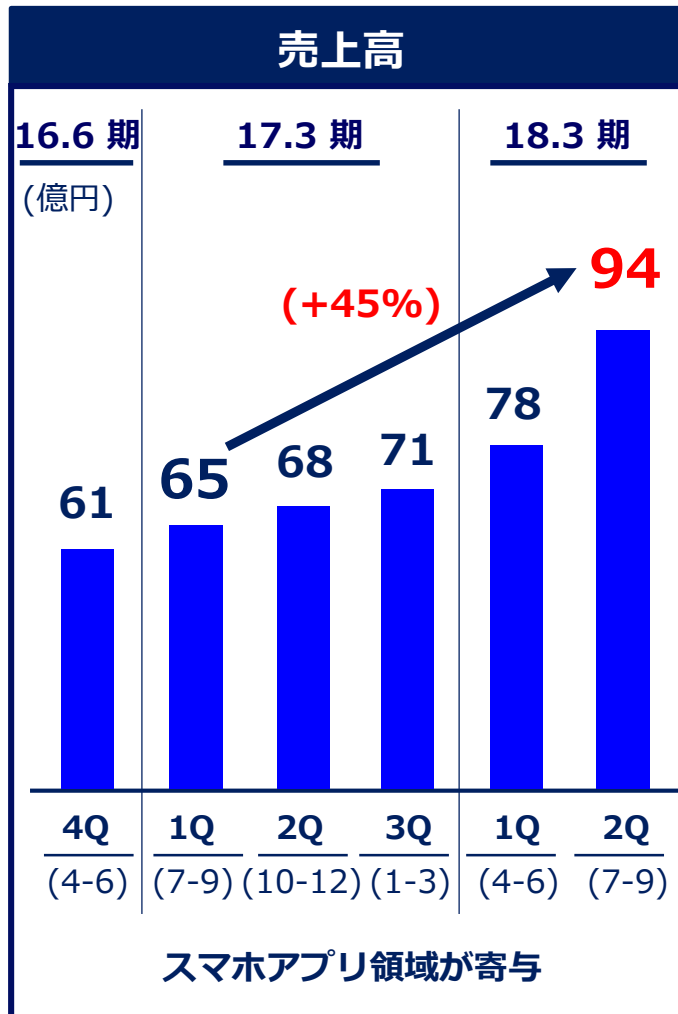


▶ ナビプラス株式会社

ベリトランス子会社、ECサイト内レコメンドエンジンを提供



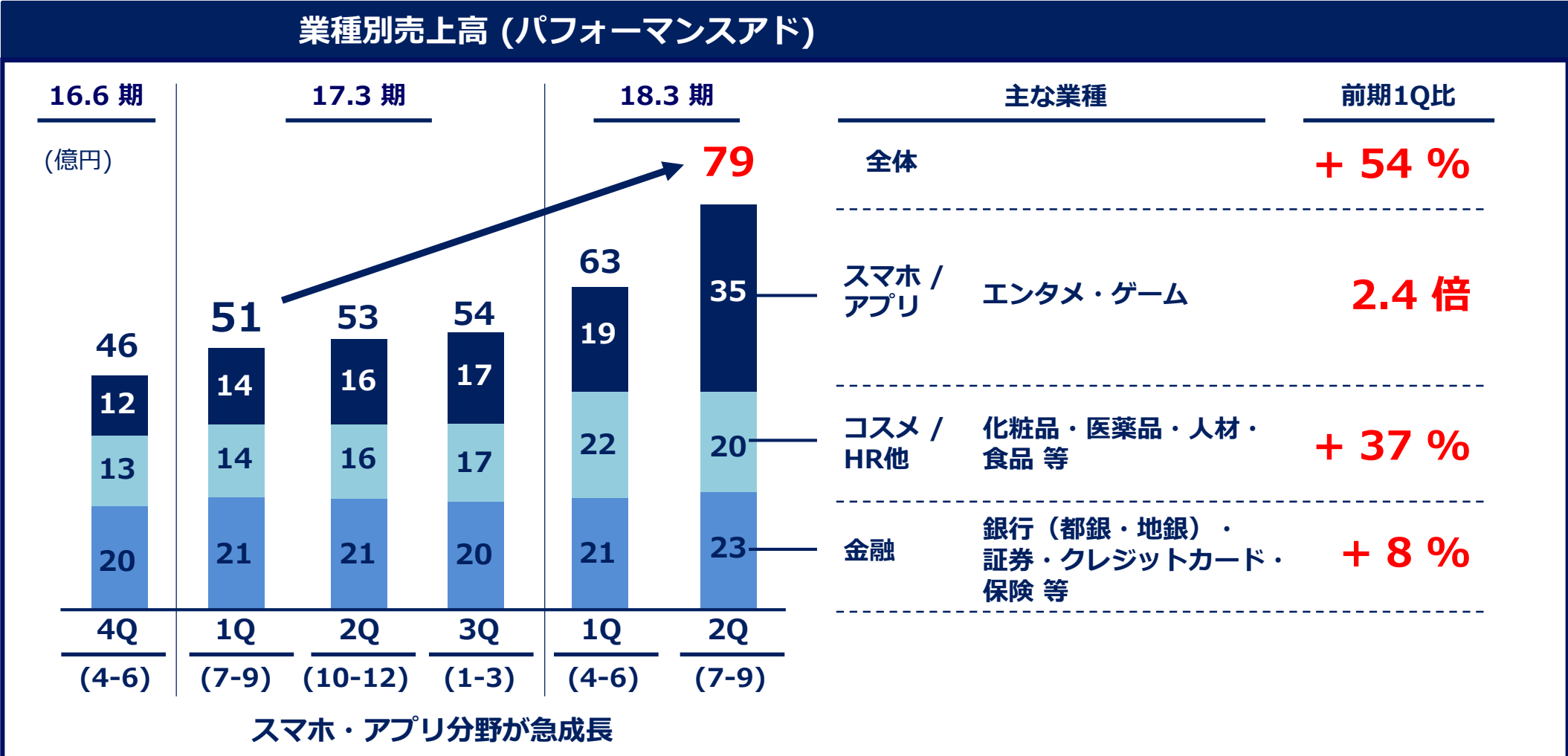
2Q売上高は前期1Q比45%増の94億円、営業利益は同67%増の6億円と大幅増収増益
 ~ 収益力を示すオペレーティング・マージンは42%に向上 ~



オペレーティング・マージン

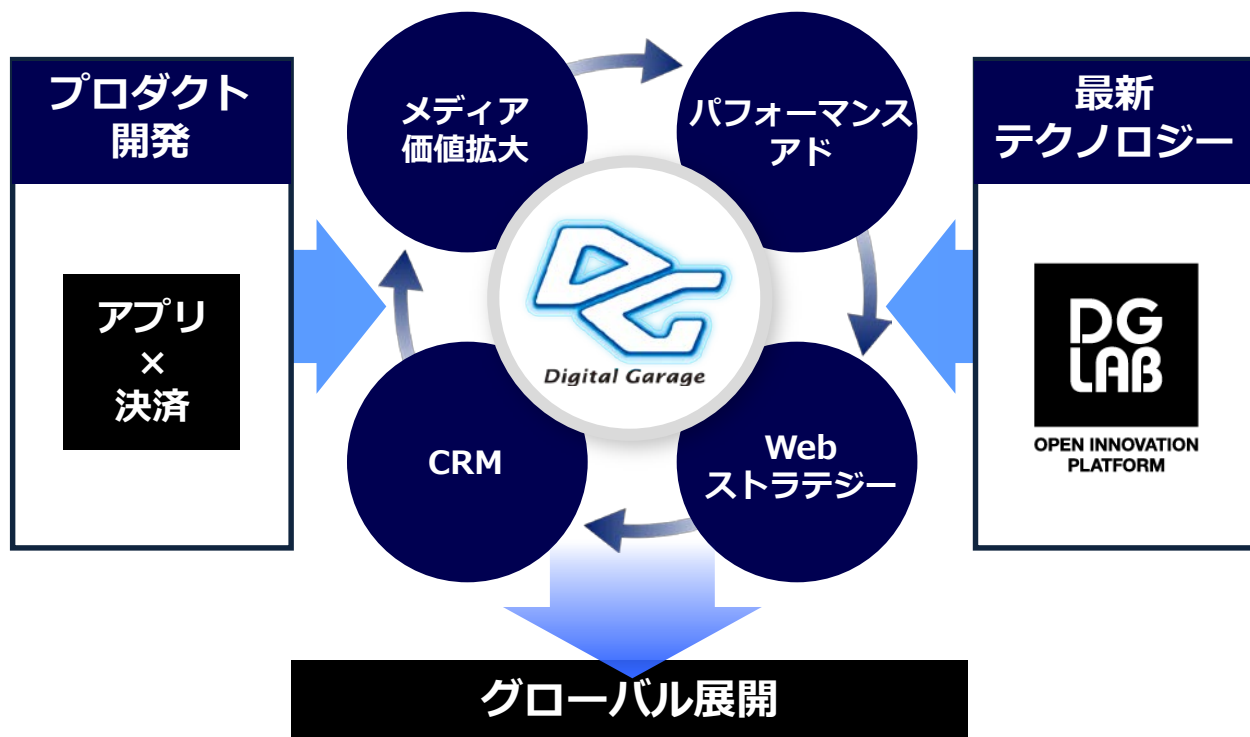
(億円)	17.3期 1Q (7-9)	18.3期 2Q (7-9)	前期 1Q比
売上高	65.5	94.9	+ 45%
売上総利益 (A)	10.6	14.5	+ 37%
営業利益 (B)	3.6	6.1	+ 67%
オペレーティング・マージン (B)	34.7%	42.4%	+7.7 ポイント
	(A)		

パフォーマンスアドは全業種増収、特にスマートフォン / アプリ分野が急成長
～ スマートフォン / アプリ分野の売上は前期1Q比 2.4倍の35億円まで拡大 ～



テクノロジーをベースに新プロダクトを創出し、クライアント / メディアの価値を創造
 ~ グローバル対応として、クライアント企業の海外進出支援に着手 ~

最新技術を活用した 第5世代移動通信システムに向けての価値創造



■ 主な取り組み

Web広告・プロモーション

- パフォーマンスアドの更なる深耕
- 上流のコンサルティング業務から一貫通貫でクライアント企業の課題解決を推進

データサイエンス

- 独自データを蓄積するためのDMPを提供、広告商材開発を推進
- カカクコムとの連携を強化
価格.com  **食べログ**
- メディア価値及び広告主のブランド価値向上を目的とした「メディアコンソーシアム」の戦略実行

グローバル

- テンセントの訪日中国人向け公式コンテンツを共同開発。インバウンドマーケティングを支援
Tencent 腾讯
- クライアント企業の海外進出コンサルティングを開始

II フィナンシャルテクノロジーセグメント

	売上高	税引前利益
2017年3月期 2Q累計実績 (7-12月)	9,329 百万円	931 百万円
2018年3月期 2Q累計実績 (4-9月)	10,159 百万円	1,157 百万円
2018年3月期 計画	20,500 百万円	2,300 百万円

▶ **econtext ASIA Ltd.**

決済事業香港法人



▶ **株式会社イーコンテクト**

国内最大級の現金系決済プロバイダー



▶ **ベリトランス株式会社**

国内最大級のカード決済プロバイダー



▶ **ANA Digital Gate株式会社** (出資比率49%/持分法適用会社)

FinTechを活用した新たな決済ソリューションを開発・提供



▶ **PT MIDTRANS** (Veritrans Indonesia 出資比率21.81%/非連結)

インドネシアの合併決済プロバイダー

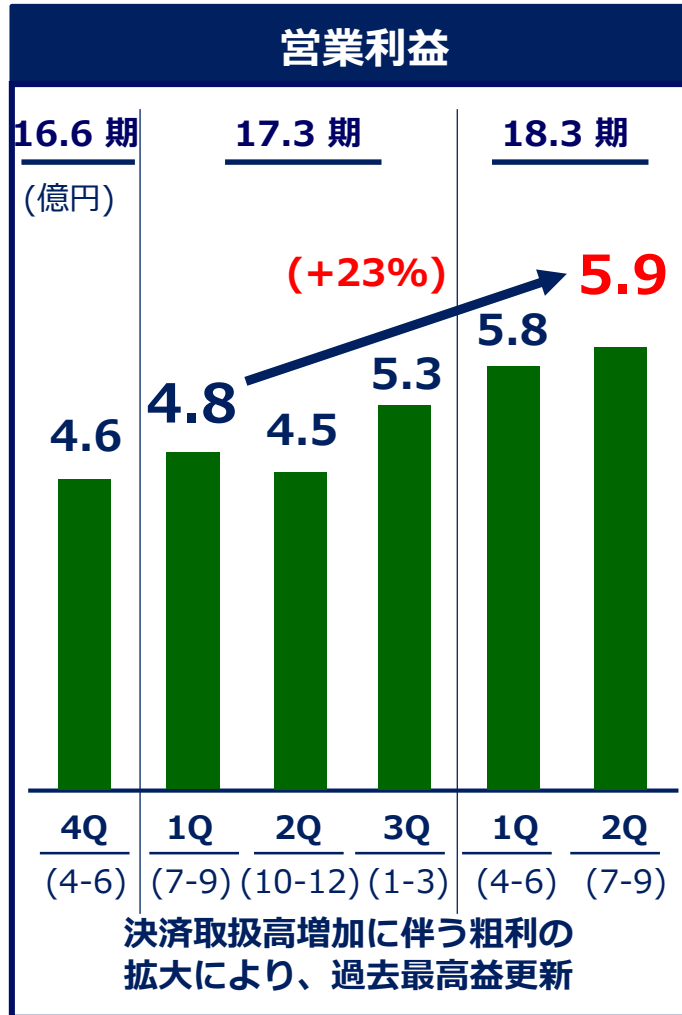
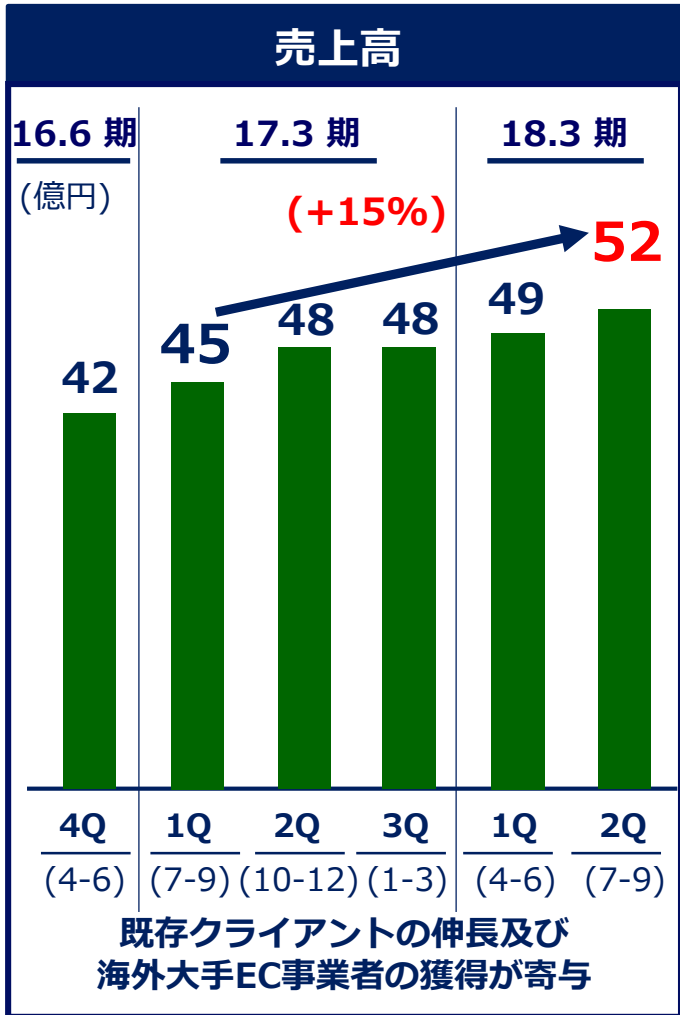


▶ **Sendo Technology JSC** (出資比率 12.89%/出資先)

ベトナムのC2C、B2C向けオンラインマーケットプレイス



**2Q売上高は前期1Q比15%増の52億円、営業利益は同23%増の6億円に拡大
～ 収益力を示すオペレーティング・マージンは42%と同2.7ポイント向上～**

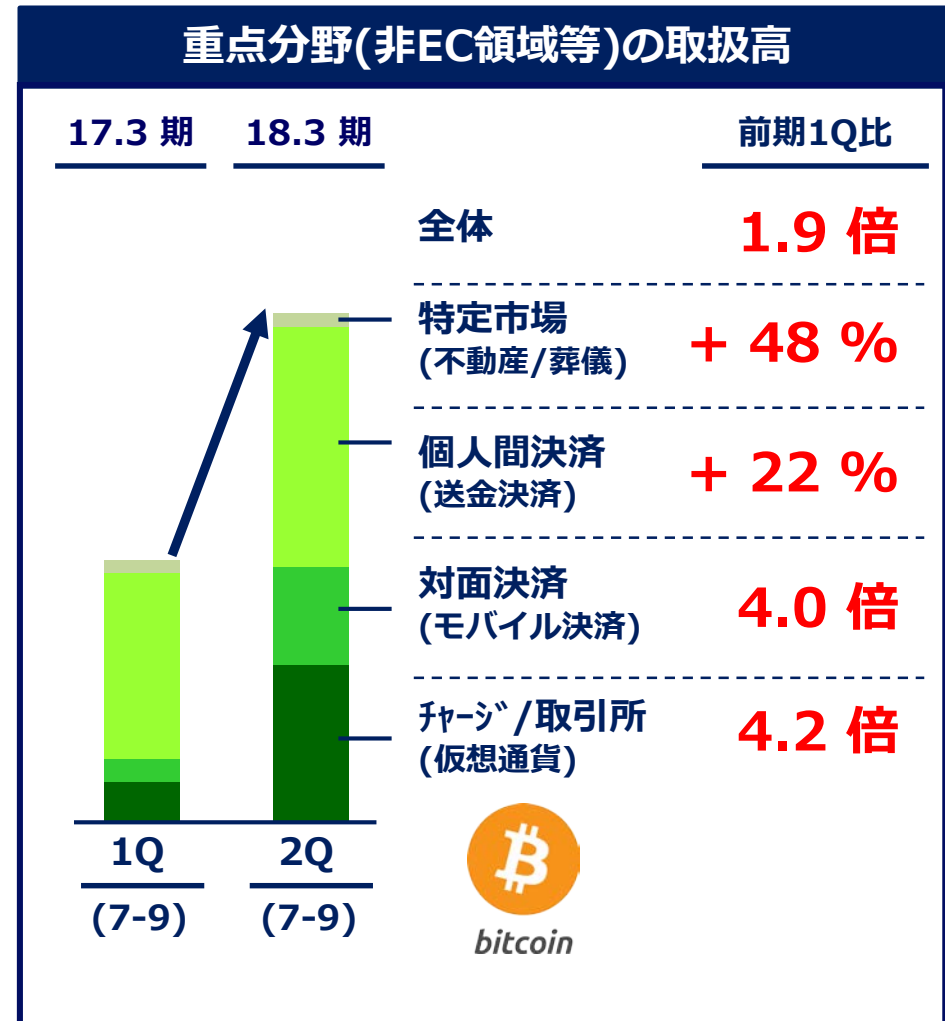


オペレーティング・マージン

(億円)	17.3期 1Q (7-9)	18.3期 2Q (7-9)	前期 1Q比
売上高	45.1	52.0	+ 15%
粗利 (A)	12.3	14.2	+ 15%
営業利益 (B)	4.8	5.9	+ 23%
オペレーティング・マージン (B)	39.3%	42.0%	+2.7 ポイント
	(A)		

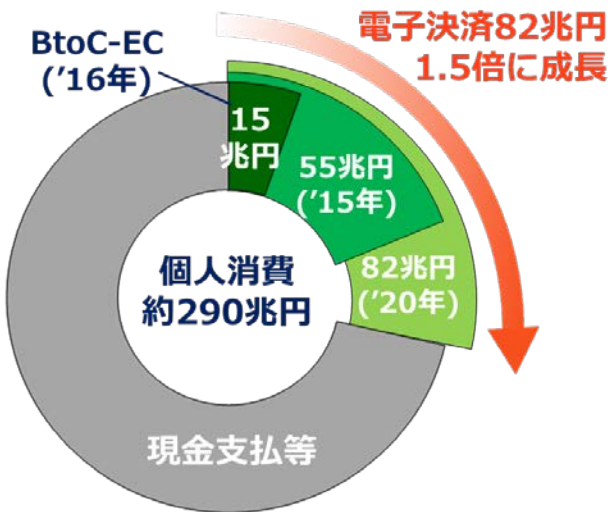
システム運用強化の支出増加を上回る売上高の伸長により、オペレーティングマージン向上

決済取扱高は前期1Q比17%増の約3,600億円とEコマース市場を上回る成長を継続
 ~ 重点分野の非EC領域は対面決済や取引所決済(仮想通貨)、個人間決済の取扱高が急拡大 ~



FinTech業界の決済プラットフォームとして、新たな成長領域を開拓 ～ 非EC領域、対面決済に続き、公金・公共領域への展開を開始 ～

市場環境



当社の事業領域におけるテーマ

- ✓ キャッシュレス社会
- ✓ 地方経済活性化
- ✓ インバウンド
- ✓ 次世代型決済 (FinTech)

成長戦略

EC決済はオーガニック成長 (10～15%成長)

I 非EC決済 / 対面決済

- 特定市場 (不動産/飲食/葬儀等)
- バーコード決済
- 新領域 (公金・公共料金等)

II アライアンス

- 大規模な顧客基盤を有する事業パートナーとの決済連携
- アライアンス先との新規事業

III 次世代型決済

- ブロックチェーン活用ソリューション
- DG Labと連携した実証実験

主な取り組み

✓ = 新たな取り組み

- 不動産/飲食/葬儀業界向け決済 
- ✓ ■ バーコード決済 
- 送金サービス 
- ✓ ■ 仮想通貨取引所決済 
- ✓ ■ 国民年金保険料のクレジットカード収納管理業務を受託 (公金分野) 

- ANAグループと連携し、全国の空港店舗の対面決済を開拓 
- コンビニでのチャージ決済 

- ✓ ■ スマートコントラクトベースの「クラウドサインペイメント」に対応  

Ⅲ インキュベーションテクノロジーセグメント

	売上高	税引前利益
2017年3月期 2Q累計実績 (7-12月)	1,070 百万円	1,507 百万円
2018年3月期 2Q累計実績 (4-9月)	1,239 百万円	121 百万円
2018年3月期 計画	6,000 百万円	3,800 百万円

▶ **株式会社DGインキュベーション**

ベンチャー企業等への投資およびインキュベーション事業



▶ **株式会社 Open Network Lab**

シードアクセラレータープログラムの第16期を実施中



▶ **Digital Garage US, Inc.**

米国を拠点としたグローバル戦略のヘッドクォーター



▶ **株式会社DK Gate** (出資比率66%)

講談社と次世代コンテンツに関わる領域をグローバルに投資育成



▶ **株式会社DG Technologies** (出資比率80%)

DG Labと連携し、戦略的な技術開発を推進



▶ **株式会社DG Daiwa Ventures** (出資比率50%/持分法適用会社)

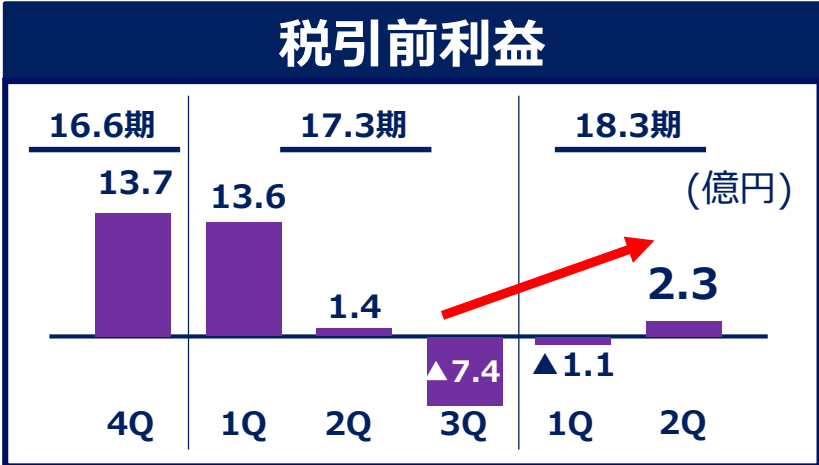
次世代技術を有するスタートアップ企業を対象としたファンド「DG Lab Fund」を運営



▶ **Kodansha Advanced Media LLC** (出資比率19%/出資先)

米国・英語圏のデジタル配信におけるマーケティング、配信・映画化とイベント等の企画実行など

保有株式の一部売却を実行、税引前利益は3四半期ぶりに黒字化
 ～ 積極的な投資を継続。CIOが就任、北米・アジアの投資事業を強化へ ～



投資残高

	社数	投資残高
株式	139	122 億円
国内	49	22 億円
海外	90	100 億円
ファンド	11	8 億円
計	150	131 億円

注) DGインキュベーションの投資残高
 上場銘柄は期末時価による評価額。株式は転換権付融資含む。
 残高合計は単位未満切捨てのため一致しない場合があります

主要なポートフォリオ

Blockstream [米・加]



ブロックチェーンの多目的な応用を容易にするプラットフォーム技術「サイドチェーン」を開発

ウェルビー [日本]



慢性疾患、糖尿病、ガン患者向けのアプリを提供

Droom [インド]



インド最大手の自動車売買オンラインマーケットプレイス「Droom」を運営

グッドパッチ [日本]



スマートフォン及びPC向けのホームページの受託開発やコンサルティングを手掛ける

Wevr [米国]



バーチャルリアリティの制作者や利用者向けの革新的なオープンネットワークである「Wevr Transport™」を運営

モンスター・ラボ [日本]



世界15カ国約1万名のエンジニアに開発を依頼できるグローバルソーシングプラットフォーム「セカイラボ」を運営

PureTech Health [米国]



最先端のバイオテクノロジー領域でインキュベーションを手掛ける米国企業。ロンドン証券取引所上場

パネイル [日本]

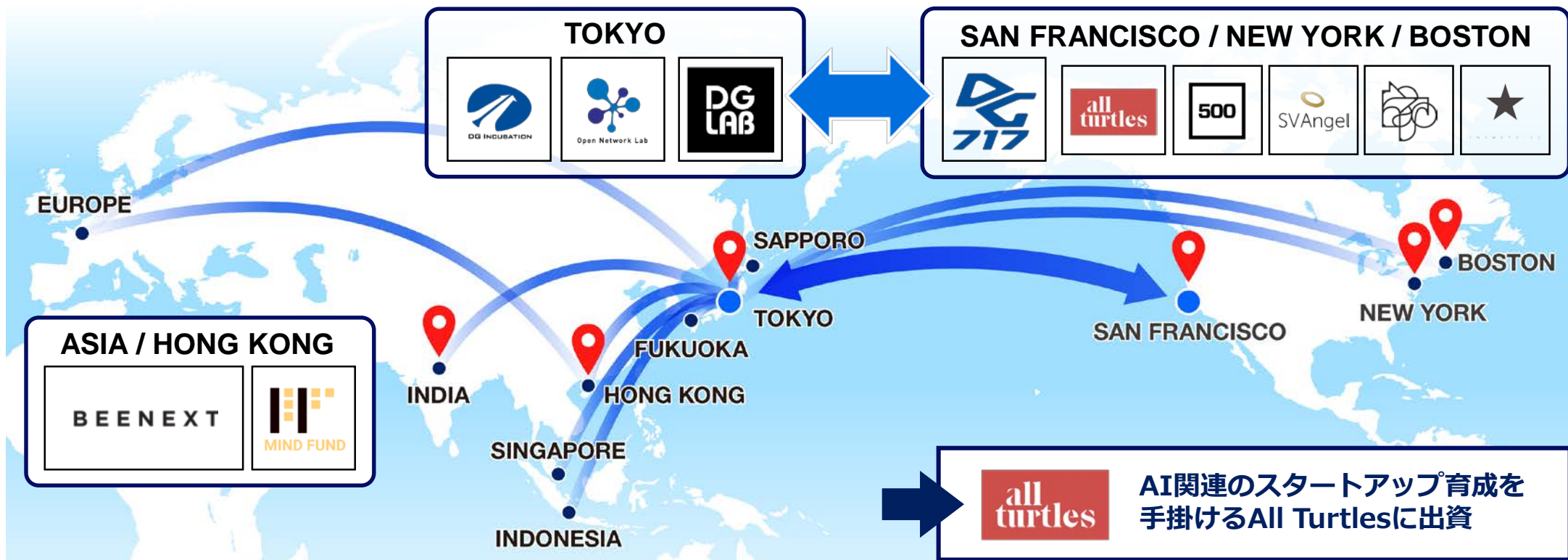


クラウドコンピューティングと人工知能を活用して完全自動化した電力小売プラットフォーム「Odin」（オーディン）を提供



AI・FinTech関連のグローバルネットワーキングを開始

～ シードアクセラレーター「Open Network Lab」のグローバルな連携を推進 ～



今後の取り組み：

- ✓ 米国・日本・欧州・アジアの連携強化、世界を舞台にするスタートアップ企業を支援
- ✓ All Turtlesへ出資し、シリコンバレー・東京・パリを繋ぐAIプロジェクトを開始
- ✓ DG Labとの連携を通じて、AI・FinTech・AR/VR分野の技術連携や開発体制強化

IV ロングタームインキュベーションセグメント

	売上高	税引前利益
2017年3月期 2Q累計実績 (7-12月)	23 百万円	1,928 百万円
2018年3月期 2Q累計実績 (4-9月)	20 百万円	1,247 百万円
2018年3月期 計画	-	2,500 百万円

- ▶ **株式会社カカクコム** (出資比率20%/持分法適用会社)
価格比較サイト「価格.com」やグルメサイト「食べログ」の運営等

kakaku.com

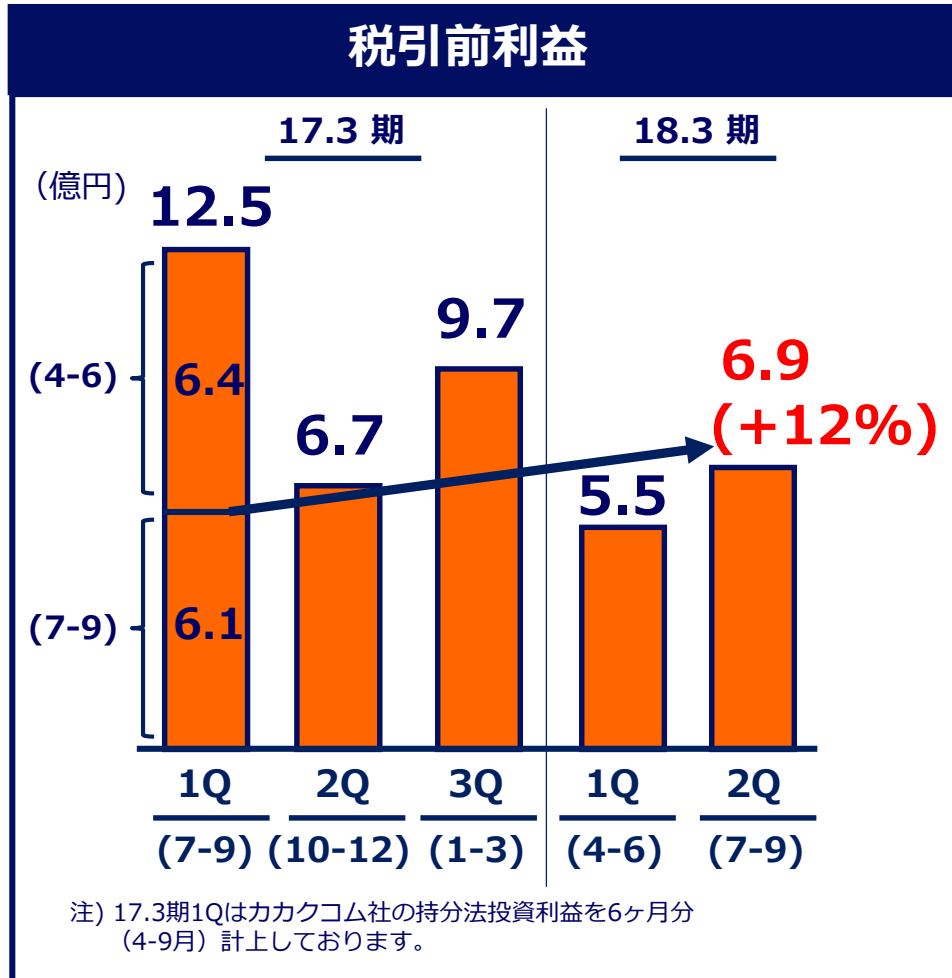
- ▶ **株式会社DG Life Design** (出資比率70%)
“Valuable Life”の提供をミッションとし、ライフケア事業、スポーツマーケティング事業、ワインスクール事業を展開

 **DG Life Design**

- ▶ **株式会社DK Media** (出資比率50%/持分法適用会社)
講談社ファッション女性誌を活用したインターネットメディア事業

DK  **MEDIA**

**前期変則決算により前期1Q比で税引前利益減益も、前年同四半期(7-9月)比では実質12%増益
～ カカクコム持分法投資利益が堅調に推移 ～**



- 2Q税引前利益は前期1Q比45%減の6.9億円
- 前期1Qの特殊要因 6 億円
 - ✓ 変則決算によりカカクコム持分法投資利益を6ヶ月分計上
 - ✓ 前期 1Q 12億→今期2Q 6億と6億減益
- 特殊要因除く 2Q税引前利益は前年同四半期(7-9月)比では実質12%増

DG Life Design社を連結子会社化、中長期インキュベーション体制を構築

～ 次世代技術革新で生まれる、次の柱となる事業を横断的に育成 ～

LTIの戦略 / カカクコム以外の事業進捗

- 投資先のグループ化、アライアンス先とのJV設立
- 新規事業育成、DGグループとの連携による事業拡大
- 長期的かつ継続的な事業利益の創出

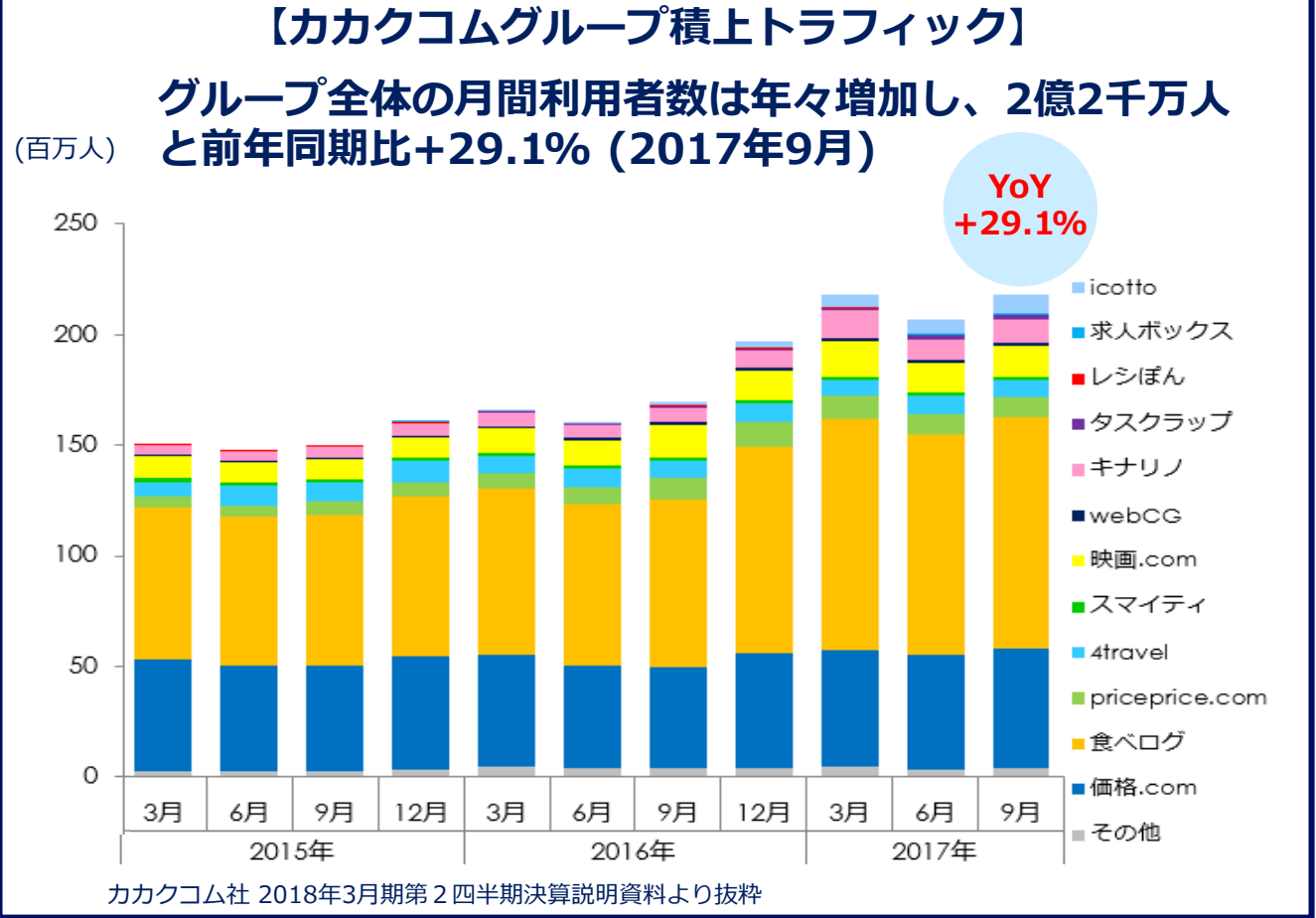


- **ライフスタイル支援事業**
 - ✓ DG Life Design社の株式を追加取得し、連結子会社化
 - ✓ 既存の収益モデルをベースにDGグループとの連携を強化



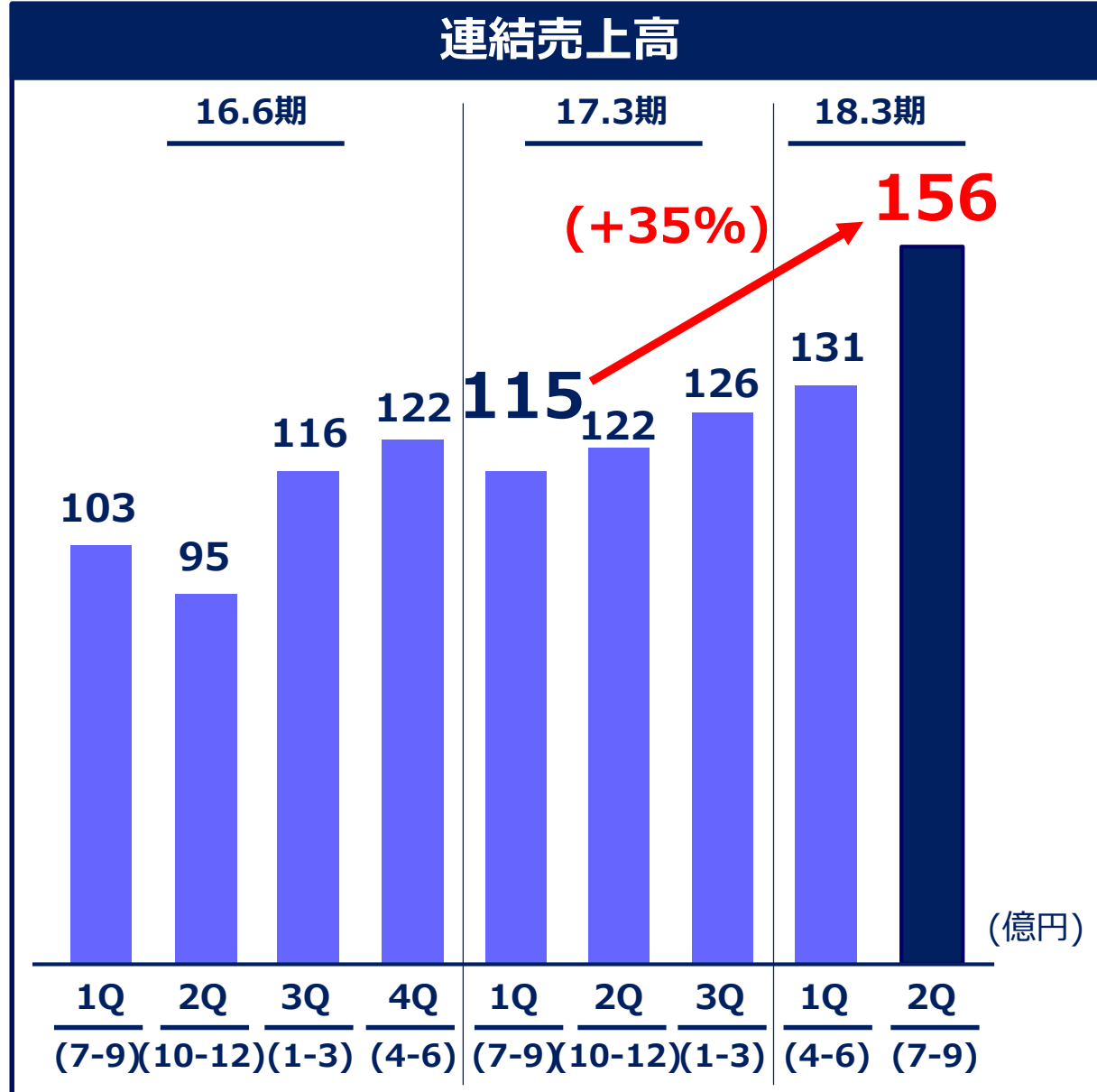
- **コンテンツ事業 (講談社とのJV)** DK★MEDIA
 - ✓ 優良コンテンツとAI技術を組み合わせたコンピレーションメディア「HOLICS」を開設

カカクコムの主な事業進捗



Appendix

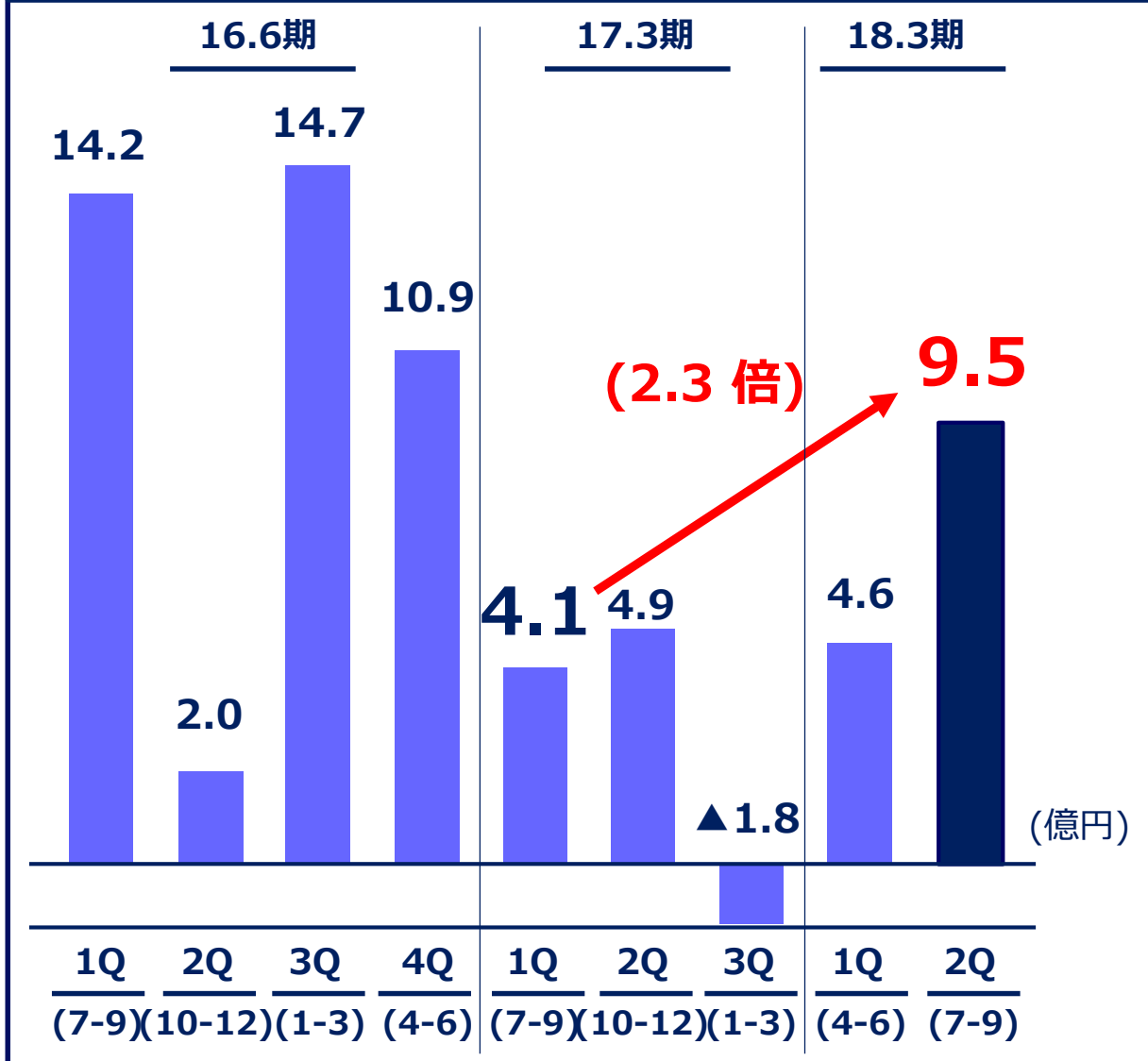




参考情報として、18.3期2Q (7-9) を前年同四半期である17.3期1Q (7-9) と実質比較しております

- 2Q売上高は前期1Q比35%増の156億円、四半期過去最高を更新
- 4四半期連続の増収を実現
- MT/FTセグメントが高成長を持続、会社全体の売上の伸びを牽引

連結営業利益



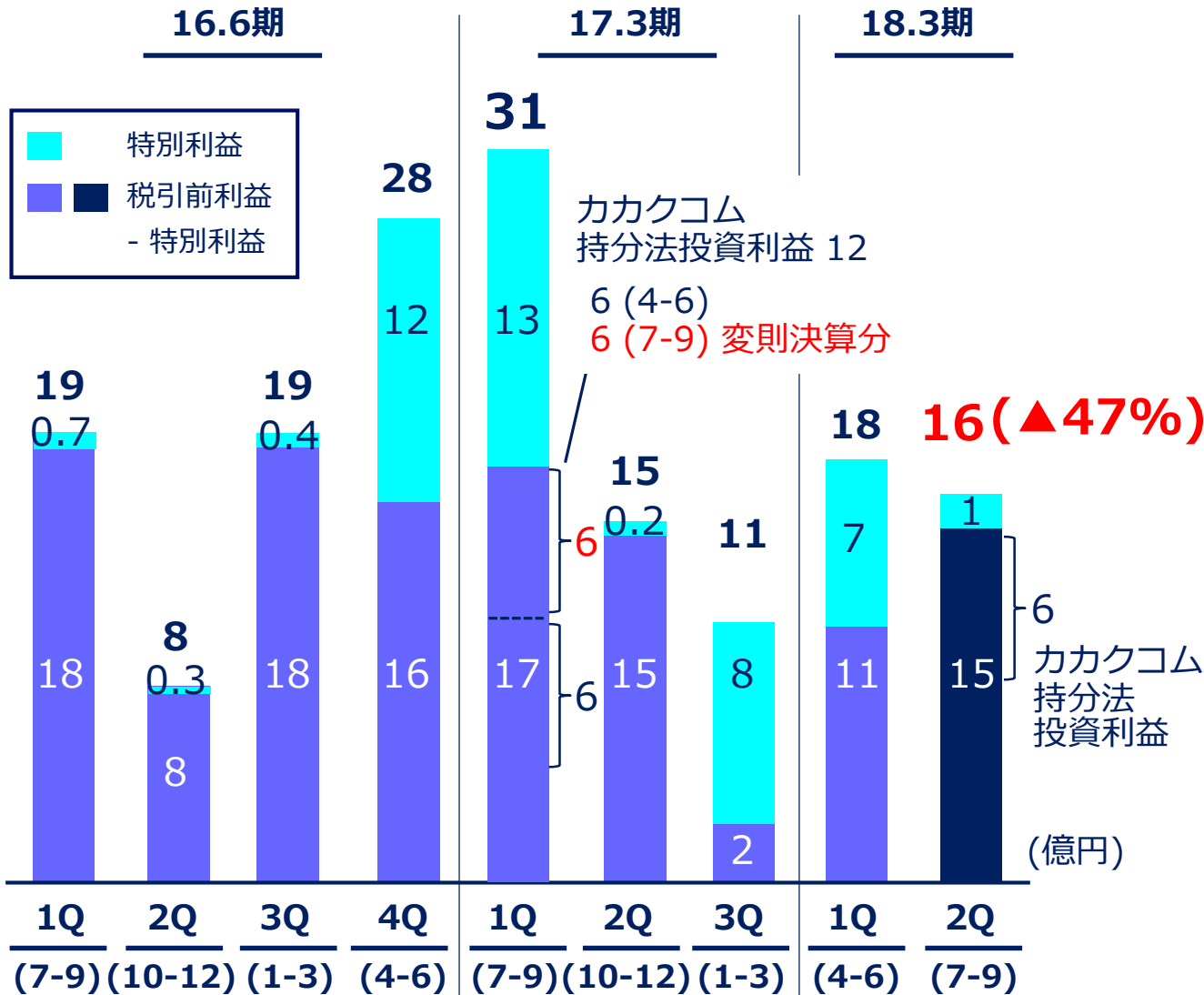
■ 2Q営業利益は前期1Q比2.3倍の9.5億円

■ 2Q営業利益率は前期1Qの3.6%から6.1% (+2.5ポイント) と収益性も向上

⇒ 高い成長性と収益性向上の両立を実現

■ 前期3Qをボトムに営業利益が2四半期連続で増益

連結税引前利益



■ 2Q税引前利益は前期1Q比47%減の16億円

■ 前期1Qの特殊要因 20億円

✓ 変則決算によりカクコム持分法投資利益を6ヶ月分計上

前期 1Q12億→今期2Q 6億と6億減益

✓ 特別利益13.8億円を計上

■ 特殊要因除く2Q税引前利益は前期1Q比37%増

	17.3期 1Q (7-9)	18.3期 2Q (7-9)	前年 1Q比
カクコム持分法投資利益	12.6	6.4	
内、(4-6)	6.2		
内、(7-9)	6.4	6.4	
特別利益	13.8	1.3	
税引前利益	31.3	16.6	▲47%
内、特殊要因 (特別利益及び 前期1Qカクコム変則決算)	20.2	1.3	
税引前利益 - 特殊要因	11.1	15.3	+37%



業績推移 (連結)

単位：百万円	2014.6期 (通期実績)	2015.6期 (通期実績)	2016.6期 (通期実績)	2017.3期 (通期実績) 9ヶ月	2018.3期 (通期予想)
売上高	33,751	38,087	43,763	36,451	58,500
営業利益	2,608	4,809	4,201	723	
営業外収益	2,307	3,736	3,031	3,246	
持分法投資利益	1,741	2,080	2,406	2,528	
為替差益	143	1,090	-	171	
営業外費用	472	936	1,040	292	
為替差損	-	-	689	-	
経常利益	4,442	7,610	6,193	3,678	
特別利益	630	2,463	1,392	2,265	
投資有価証券売却益	220	68	-	1,829	
関係会社株式売却益	-	-	521	386	
持分変動利益	374	2,363	157	47	
事業譲渡益	26	23	706	-	
特別損失	38	824	10	124	
減損損失	0	657	-	104	
税金等調整前当期純利益	5,035	9,248	7,574	5,819	8,000
法人税等	1,887	3,855	2,385	1,525	
親会社株主に帰属する当期純利益	2,847	5,081	5,165	4,289	5,500

注) 持分法適用会社のカクコム社は2018.3期より指定国際会計基準「IFRS」を適用しており、2017.3期の数値は遡及適用後で反映しております。










単位：百万円	2014.6期 (通期実績)	2015.6期 (通期実績)	2016.6期 (通期実績)	2017.3期 (通期実績) 9ヶ月	2018.3期 (通期予想)
売上高	33,751	38,087	43,763	36,451	58,500
MT マーケティングテクノロジー	14,822	16,064	21,028	20,494	32,000
FT フィナンシャルテクノロジー	13,454	14,568	16,392	14,140	20,500
IT インキュベーションテクノロジー	5,475	7,454	6,343	1,775	6,000
LTI* ロングタームインキュベーション	-	-	-	41	-
税金等調整前当期純利益	5,035	9,248	7,574	5,819	8,000
MT マーケティングテクノロジー	874	1,061	1,396	1,074	1,750
FT フィナンシャルテクノロジー	1,496	1,335	1,758	1,478	2,300
IT インキュベーションテクノロジー	1,595	2,804	3,105	766	3,800
LTI* ロングタームインキュベーション	1,776	4,477	3,052	2,899	2,500

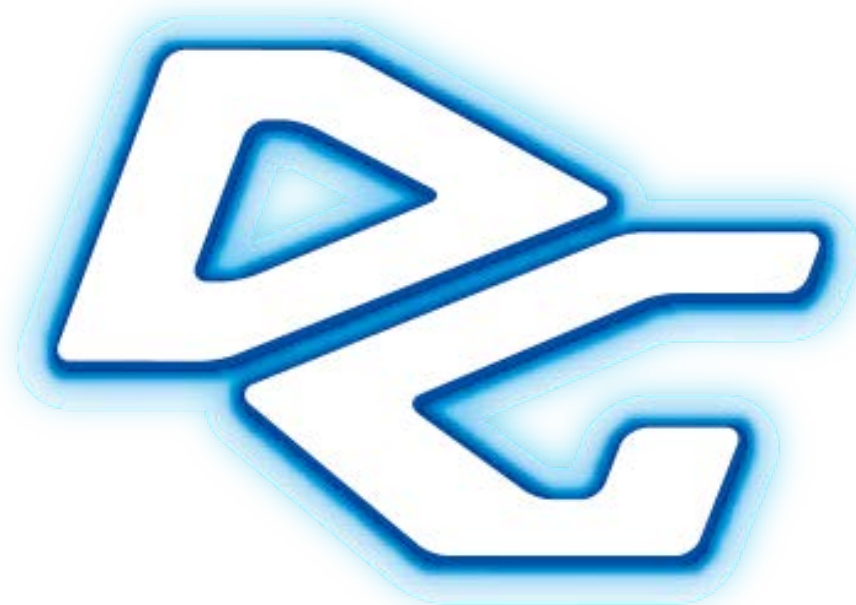
注) セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前

* 2018.3期より、中長期かつ継続的な事業利益の創出に取り組むことを目的として、従来のセグメントのうち、MIセグメントをLTIセグメントに変更しております。
従来ITセグメントに含まれていた一部の事業等をLTIに移管しており、2017.3期の数値は変更後の区分により表示しております。

リリース日		リリース内容
2017年10月30日	 Digital Garage	デジタルガレージ、北米、アジアの投資事業を強化 DGインキュベーションの投資責任者に有力投資家のBrian Yehが就任
2017年10月27日	 Digital Garage	デジタルガレージ、LINEの運用型広告配信プラットフォーム「LINE Ads Platform」の「Marketing Partner Program」において、「Sales Partner」の「Silver」に認定
2017年10月26日	 veritrans	ベリトランス、厚生労働省に国民年金保険料カード納付のためのカード決済サービスを提供開始
2017年10月20日	 NaviPlus	ナビプラス、オットー・ジャパンに顧客の声をマーケティングに活用する「商品レビュー分析サービス」を提供
2017年10月17日	 veritrans	ベリトランス、「IVR決済ソリューション」をスクロール360のEC一元管理システム「eシェルパモール」に提供
2017年10月10日	 DG Lab	DG Lab、ビットコインのブロックチェーン上で独自仮想通貨を発行できる汎用フレームワーク「DG Lab DVEP」TMを開発
2017年10月5日	 Open Network Lab	Open Network Lab、起業家支援プログラム「Seed Accelerator Program」第16期の募集を開始
2017年10月3日	 DGLAB FUND	DG Labファンド、福岡市スタートアップ支援1号案件としてAI/IoTを活用したクラウドサービスを展開するスカイディスクに出資
2017年10月2日	 Digital Garage	デジタルガレージとテンセント、モバイルQQにおける訪日中国人向け公式コンテンツ「QQお出かけ日本」を共同開発し提供開始
2017年9月29日	 DG Lab	DG Lab、「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2017 SAN FRANCISCO」を開催
2017年9月25日	 veritrans	ベリトランス、カード情報の非保持化を実現する電話決済サービス「IVR決済ソリューション」の契約数が300件を突破
2017年9月21日	 Digital Garage	デジタルガレージ、福岡地域戦略推進協議会と提携し、福岡市におけるスタートアップ起業支援を開始
2017年9月19日	 Digital Garage	デジタルガレージ、企業の広報・PR活動を支援する株式会社PR Tableに出資
2017年9月8日	 DGLAB FUND	DG Labファンド、ブロックチェーン・AI・バイオテック等の分野で次世代技術を有するスタートアップ企業12社に投資
2017年9月7日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusレコメンド」にAIによる自動最適化機能を追加し提供開始
2017年8月31日	 Digital Garage	デジタルガレージが運営を支援するオープンイノベーションプログラム「TOYOTA NEXT」協業企業が決定
2017年8月29日	 Digital Garage	デジタルガレージ、世界を舞台に独創的な挑戦を続けるリーダーを応援する「デジタルガレージ ファーストペンギンアワード 2017」を開催
2017年8月18日	 Digital Garage	店頭の顧客獲得を狙うメーカーを支援、日本最大級のID-POSデータ連動型広告運用サービス「POS UP!-オンライン広告™」の提供を開始

リリース日		リリース内容
2017年8月3日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusリタゲメール」に商品の価格や在庫情報の変動をタイムリーに通知する機能を追加
2017年8月1日	 econtext	イーコンテクト、送金サービス「CASH POST」の現金受取先に「ドコモ口座」を追加
2017年7月25日	 Digital Garage	デジタルガレージ、次世代バイオスタートアップの育成事業に参入 米国でバイオインキュベーションを手がけるPure Tech社と業務提携
2017年7月21日	 DG Lab	DG Lab、「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2017 TOKYO」の基調講演を「DG Lab Haus」を通じストーリーミング配信
2017年7月20日	 Veritrans	ベリトランスとハンズラボ、東急ハンズにクレジットカード情報の非保持化とICカードに対応したPOSシステムを提供開始
2017年7月18日	 NaviPlus	ナビプラス、DGコミュニケーションズが運営するマンション所有者向け住宅資産管理サービス「家いくら？」β版に機械学習技術を提供
2017年7月10日	 Veritrans	ベリトランス、リンク決済サービスをリニューアルし、「VeriTrans4G POP」としてEC事業者向けに提供開始
2017年6月29日	 Digital Garage	デジタルガレージ、ユーザー行動に応じたLINE配信サービスを活用し、ゲームアプリ事業者のプレゼントキャンペーンを支援
2017年6月28日	 Digital Garage	デジタルガレージと講談社、雑誌の優良なコンテンツとAI技術を組み合わせたコンピレーションメディア「HOLICS」を開設
2017年6月20日	 DG Lab	DG Lab、人工知能を活用したインタラクティブ・エージェント技術のオープンプラットフォームを構築
2017年6月14日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusリタゲメール」のフォローメールに自動掲載できる商品レコメンドの種類を拡充
2017年6月9日	 econtext	イーコンテクト、新電力サービス「寄付電気for国境なき医師団」と「ネコ電気」へクレジットカード決済サービスを提供
2017年6月1日	 DG Lab	DG Labとカディンチェ、ライブパフォーマンスを「4K360° VR」で生配信 臨場感あふれる新感覚の映像体験を提供
2017年6月1日	 Digital Garage	デジタルガレージ、AI関連のスタートアップ育成を手がけるAll Turtlesに出資、日本における事業展開を支援へ
2017年5月31日	 Digital Garage	THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2017 TOKYOが7/25-26に開催 テーマは「バイオテクノロジー」と「ブロックチェーン」
2017年5月30日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusレコメンド」のABテスト機能を提供開始
2017年5月17日	 Digital Garage	デジタルガレージ、「クラウドサインペイメント」の提供を契機として、事業者間決済の電子化事業を本格展開へ

リリース日		リリース内容
2017年5月16日		飛騨信用組合とアイリッジ、電子地域通貨の実証実験においてDG LabがBlockstream社と共同開発するブロックチェーンプラットフォーム技術を検証へ（アイリッジ社のプレスリリース）
2017年5月15日	 Digital Garage	日本初、契約締結と決済を同時に行えるクラウドサービス「クラウドサインペイメント」を提供開始
2017年5月15日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusレコメンド」に訪問者属性の分析機能を追加し、EC事業者への提供を開始
2017年5月12日	 Digital Garage	デジタルガレージ、富裕層向けライフスタイル支援事業を本格始動 投資先とその子会社2社を経営統合しDG Life Designとして事業展開へ
2017年4月28日	 veritrans	ベリトランス、オプティムとMRTが運営する遠隔診療サービス「遠隔診療ポケットドクター」にクレジットカード決済サービスを提供
2017年4月5日		Blockstream社、機密性を保ちながらブロックチェーン上でデジタル資産の取引を可能にするConfidential Assets機能を開発、オープンソースのデモプログラムをDG Labが提供（Blocksteam社のプレスリリース）
2017年4月5日	 veritrans  econtext	ベリトランスとイーコンテキスト、リクルートライフスタイル展開の『モバイル決済 for Airレジ』向けにビットコイン決済を提供
2017年4月3日	 econtext	イーコンテキスト、クレジットカード情報の漏えいを防止するトークン決済の提供を開始



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。この文書は、投資家向け説明資料として一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また、この文書は、米国その他証券の売付けまたは買付けの勧誘を行うにあたり証券法の登録または資格要件の充足が必要となる地域における証券の売付けまたは買付けの勧誘を構成するものではありません。当社又は当社連結子会社の証券いかなる証券も米国の1933年証券取引法（以下「1933年米国証券法」といいます。）に基づいた登録がなされておらず、1933年米国証券法に基づく登録を行うか、または登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の売付けまたは勧誘を行うことはできません。米国において証券の公募を行う場合には、公募を行う会社およびその経営陣ならびに財務諸表に関する情報を記載した目論見書によって行うこととなります。